

# 学校づくりアンケート結果報告

1月末から2月初旬に学校評価として、4・5年生児童とPTA役員の保護者の方々に、学校づくりに向けたアンケートをお願いしました。また、学校評議員5名の方々に、アンケート結果を基に、アンケートやご意見を伺いました。

◎4・5年生用アンケートの項目は、次の通りです。

## 【4・5年生用】

- 1 学校生活は楽しい
- 2 運動会や遠足などの行事は楽しい
- 3 学校の給食を楽しみにしている
- 4 先生方は、話をよく聞いてくれる
- 5 勉強は、わかりやすく楽しい
- 6 困ったこと、わからないことは先生に聞くことができる
- 7 授業に集中して取り組んでいる
- 8 自分の考えをみんなの前で発表できる
- 9 先生方は、よくほめてくれる
- 10 学校やクラスのきまりを守っている
- 11 先生方やともだちにあいさつをしている
- 12 委員会や係の活動をきちんとしている
- 13 そうじをきちんとやっている
- 14 友だちにやさしくしている
- 15 こまったとき、相談する友だちがいる
- 16 休み時間は友だちと外で元気に遊んでいる
- 17 家の人に学校のことをよく話す
- 18 先生はいじめについてきちんと指導してくれる
- 19 友だちにいじめられていやな思いをしたことがある

各項目について、A（そう思う）、B（だいたいそう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）の4段階で記入してもらい、結果を分析しました。

全体的には、昨年と同様の結果が見られます。AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、85%以上が「1学校生活を楽しみ」と答えています。しかし、約6%がDと答えていたことを軽視せず、取り組んでいくことが必要だと捉えています。また、「2行事や3給食を楽しみにしている」が90%近くであることも、楽しさにつながっています。

勉強面では、「7授業に集中して取り組んでいる」が82%ですが、「5勉強は、わ

かりやすく楽しい」が74%、「8自分の考えをみんなの前で発表できる」が51%となり、授業等を通して、学習の楽しさや考えを発信することの大切さをさらに実感させることが課題です。

先生との関係では、「4先生方は、話をよく聞いてくれる」が84%と高いのに対し、「6困ったこと、わからないことは先生に聞くことができる」が70%、「9先生方は、よくほめてくれる」が67%となり、トラブルの発生や学習内容の理解不足の状況把握と迅速な対応、また、頑張ったことへのタイムリーな声かけ等、教師側からのアプローチもさらに必要であると感じます。

学校生活面の10～13では、どれも90%近くで、意識を持ってしっかりと過ごしている姿勢がうかがえます。

友だち関係では「14友だちにやさしくしている」が91%、「15こまったとき、相談する友だちがいる」82%と高く、良好さがあるうかがえます。

19いじめに関して、「ある」が28%でした。これは決して少ない値ではありません。本校の校内研究では、道徳科の充実に取り組んでいます。道徳科を要とした、教育活動全体を通して、また、児童支援担当教諭（みんなの先生）を中心として、全職員で「いじめ防止」の重要課題に引き続き取り組んでいきます。

◎保護者用アンケートの項目は、次の通りです。

## 【保護者用】

- 1 学校は、教育目標や経営方針、活動の様子をわかりやすく知らせている
- 2 学校は、授業参観、学校公開日、面談などを通して子どもの様子を知る機会を十分設けている
- 3 学校行事の内容は、適切であると思う
- 4 学校に、子どものことについて気軽に相談できる
- 5 学校は、子どもが努力したことを認められている
- 6 学校は、地震・台風など災害発生時の対応を知らせている
- 7 学校は、子どもの安全や事故防止に努めている

- 8 子どもへの学習指導は適切に行われている
- 9 子どもへの生活指導は適切に行われている
- 10 学校の施設・設備は適切に管理されている
- 11 学校の施設・設備は有効に活用されている
- 12 学校給食は、栄養などをよく考えてつくられている
- 13 学校は、PTAや家庭との協力関係ができています
- 14 子どもは、学校に行くのが楽しそう
- 15 子どもは授業がわかりやすいと言っている
- 16 子どもは、学校行事を楽しみにしている
- 17 子どもたちは、あいさつがよくできていると思う
- 18 子どもたちは交通ルールをよく守っている
- 19 学校からの配布物は、必ず読んでいます
- 20 学校・学級の様子は、家庭でよく話し合っている

各項目について、A（よい）、B（だいたいよい）、C（あまりよくない）、D（よくない）の4段階で記入していただき、結果を分析しました。

AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、全項目で83%～100%の高い値で、全体的に、よい評価をいただくことができ、本校の教育活動にご理解いただけていることがわかりました。特に、1・2の情報発信は、高い評価でした。御所見通信や学年・学級便り、授業参観、学校公開、面談などを通して、教育活動や児童の活動の様子をお伝えしたことで、学校への理解を深めていただくことができたと考えています。学校HPに関しては、ページ更新回数を昨年の31回から1,073回に増やし、アクセス数が8,080回から30,325回（2月末まで）になったことも、関心を寄せていただいている現れと感謝しております。他にも、6・12の防災、給食が高い評価でした。

14・16の学校生活と行事に関しては児童と同様に高い評価でした。全体的には高い評価の中でも、児童と同様の傾向で他の評価より少し低い値だったのが、4・8・9・15でした。このことは、保護者の方が、児童との家での会話の内容や様子等から、児童が感じていることをしっかりと把握していただいている証です。保護者と学校が連携して、児童のためによりよい教育活動を展開していくために、同様の問題意識を持てることは、とても大切だと思います。

◎学校評議員用アンケートの項目は、次の通りです。

## 【学校評議員用】

- 1 学校教育目標は、求められている課題、児童や地域の実態などを踏まえ適切である
- 2 学校経営方針は、求められている課題、児童や地域の実態などを踏まえ適切である
- 3 学校は、保護者・地域住民の願いを踏まえた学校づくりに努めている
- 4 教育目標や経営方針に沿った教育活動がなされている
- 5 学校の教育活動の様子がよくわかるように知らされている
- 6 学校は児童の安全や事故防止に努めている
- 7 学校の施設・設備等は適切に管理・活用されている
- 8 学校は地域の諸団体とよく交流をしている
- 9 職員は外来者に対して適切に対応している
- 10 学校は、学校公開や行事などを通して参観できるように努めている
- 11 児童は楽しそうに学校生活を送っている
- 12 児童は、積極的に学習に臨んでいる
- 13 児童は、あいさつがよくできる
- 14 児童は、地域で大切にされている

各項目について、A（よい）、B（だいたいよい）、C（あまりよくない）、D（よくない）の4段階で記入していただきました。

全項目で100%、AとBの肯定的な評価をいただくことができました。

学校評議員の方々には、授業参観、運動会、御所見スタディーランド、音楽会と年間を通して見ていただくことにより、児童たちが学習の積み重ねの中で成長していく姿を見ていただくことができました。6年間の集大成としての音楽会での自信に満ちた合唱・演奏に感動したという感想をいただきました。また、教職員の働き方改革を推進し、学校が担う教育と保護者や地域が担う教育を相互理解ができるように発信し、先生に、児童とじっくりと向き合う時間を確保することが、アンケート結果のいくつかの対応すべき項目の改善につながるのではないかというご意見をいただきました。

アンケートにご協力いただいた方々、貴重なご意見をありがとうございました。

教職員による自己評価・反省も含め、いただいたご意見やアンケート結果を基に、来年度に向けて、改善してまいります。